

てだこ浦西駅交通結節機能強化 整備計画（素案）

目 次

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. てだこ浦西駅交通結節機能強化整備計画の検討背景 | … p. 1 |
| 2. 整備方針（案） | … p. 4 |
| 3. 整備イメージ（具体的な機能） | … p. 11 |
| 4. 今後の検討項目 | … p. 19 |

1. てだこ浦西駅交通結節機能強化整備計画の検討背景

1. てだこ浦西駅交通結節機能強化整備計画の検討背景

1-1. 検討の背景・目的

2

【沖縄都市モノレール、てだこ浦西駅の整備背景】

- 沖縄都市モノレールは開業から20年が経過、県民、観光客の足として利用され、まちづくりの推進や交通渋滞の緩和に大きな効果を発揮している。
- 終点のてだこ浦西駅については、沖縄自動車道との接続による広域交通軸を形成し、本島中北部地域からの定時・定速性、時間短縮等の利便性向上の観点から整備された。



【現状の課題】 ※詳細は次ページ参照

- 現時点において、てだこ浦西駅は各交通機関との結節機能が不十分であり、広域的な利用の観点から改善が求められている。
- 駅周辺のまちづくりが進むなか、交通結節機能の強化・利便性向上・にぎわい創出等が求められている。



【整備計画の検討】

沖縄都市モノレールてだこ浦西駅（駅周辺の交通広場及び高架下等を含む）の交通結節機能強化に関する整備計画の策定に向け、駅に求められる乗換機能の強化及び利便性向上、賑わい創出等に関して、多様な意見を取り込みながら検討に取り組む。

交通結節点のイメージ

交通結節点とは、複数の交通手段をつなぐ施設であり、快適性・利便性の向上が求められているほか、近年、都市化の進展に伴い、求められる機能も多様化している。

出典：沖縄県総合交通体系基本計画(R4年10月)



■本島の骨格を形成する公共交通体系

- 鉄軌道を含む新たな公共交通システム（沖縄鉄軌道の構想）
- 基幹バスシステム（短中期計画）
- 基幹バスシステム等（中長期計画）
- 上記以外で基幹バスシステムを構築する方向
新たな公共交通システムを拡充する
施策・西空港港地区エリア
広域圏を結ぶ利便性の高いバス
- モノレール
主なその他の公共交通（バス網）
主な市街地等
主な米軍基地（嘉手納基地より北）
- 沖縄自動車道（宜野湾、沖縄、名護）
広域交通拠点（宜野湾、主要な港湾）
- 地域拠点
駐留軍用地跡地利用拠点



出典：沖縄県総合交通体系基本計画(R4年10月)

1. てだこ浦西駅交通結節機能強化整備計画の検討背景

1-2. 上位関連計画（てだこ浦西駅に求められる機能）

3

指針

（交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（R3年4月））

交通拠点に求められる具体的な機能として、交通機能（基本機能、交通結節機能）、防災機能、交流等機能（地域の拠点・賑わい機能、サービス機能、景観機能）がある。¹⁾

県の上位計画

（沖縄県総合交通体系基本計画（R4年10月）等）

- 幸地IC（仮称）との結節を図り、中部方面以北からの路線バスやP&Rによる利便性を高める²⁾⁴⁾
- パーク＆ライド駐車場の利用促進、高速バスとの結節、シェアサイクル及びレンタカーとの連携²⁾³⁾⁵⁾
- ★ まちづくりと連携した交通結節点の整備を促進³⁾ 観光、私事や買物等の利用促進に向けたイベント実施の継続⁴⁾
- 観光二次交通の交通結節点の整備を促進³⁾
- バス停上屋の整備、デジタルサイネージ・動的データのオープン化⁵⁾

● 広域移動手段関係 ■ 駅の有する機能の関係 ▲ 浦添市内の周辺地域との連携関係 ★ まちづくり、賑わい関係

浦添市の関連計画

（浦添市地域公共交通計画（R6年2月）等）

- 総合交通結節点として整備（交通結節、交流機能、景観、防災等）
- ▲ 今後市内で検討するコミュニティバス、小型モビリティとの連携強化⁶⁾
- ★ 大型商業施設、フィットネス施設、オフィス等の誘致による多機能拠点の形成（にぎわい）⁷⁾
- ▲ 地区内事業者の協力による防災への取組⁷⁾

1)：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（R3年4月 国土交通省道路局）

2)：新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（R4年5月 沖縄県）

3)：沖縄県総合交通体系基本計画（R4年10月 沖縄県）

4)：沖縄県地域公共交通計画（R6年5月 沖縄県）

5)：TDM施策推進アクションプログラム（R4年12月 沖縄県）

6)：浦添市地域公共交通計画（R6年2月 浦添市）

7)：てだこ浦西駅周辺スマートシティマスター・プラン（R4年3月 浦添市）

主な目標

- ① 高速道路との結節・連携（各種バスとの結節、P&R促進、レンタカー連携等）
- ② 乗換機能強化（端末・二次交通との結節、多様なモビリティ確保、乗換案内強化）
- ③ まちづくりと連携した拠点形成（にぎわい創出）

2. 整備方針（案）

2-1. てだこ浦西駅における現状と課題

【交通結節点としての現状】

- てだこ浦西駅の交通結節機能として、P&R駐車場や駅前広場は既に整備されているが、バスとの結節など多様な交通機能の確保や、観光機能、商業機能、情報発信機能などについては十分とは言えない状況である。



■交通結節点として考えられる機能とてだこ浦西駅の現状（参考）

交通結節点として考えられる機能 (H20年度業務にて整理した機能)	てだこ浦西駅の交通結節点としての現状（R6年度）	
交通結節・連携機能	△	P&R駐車場やK&R・タクシー・バスのバース整備済みだが、利用促進における課題あり
交流機能	△	交通広場で不定期のイベント開催はあるが、常時人が集うような施設等が不足
観光機能	✗	観光案内等が不足
道の駅機能・商業機能	✗	地元の土産物や地域の体験等は提供されず
情報発信機能	✗	交通情報や魅力的な情報は提供されず
沖縄都市モノレールと沖縄自動車道との結節点における導入機能	パークアンドライド駐車場	○ 駅隣接P&R駐車場整備済
	駅前広場	○ 自家用車、バス、タクシー等の停車スペースあり
	モノレールとバスの結節施設及びバスターミナル	✗ 周辺にバス停が点在、バスターミナル機能は未達
	レンタカーデポ	✗ レンタカーを集約する機能・場所等は存在せず
	交通・案内情報施設	✗ 所要時間などのリアルタイムの情報提供は存在せず
	道の駅機能	✗ 地元の土産物等の扱いなし

2. 整備方針（案）

2-1. てだこ浦西駅における現状と課題

6

- バス停点在：駅前、駅近隣に多様な方面の路線バス停があるが、それぞれが離れて点在している
- 情報案内：上記の点在バス停や、駅周辺のレンタカーや施設への案内が不足している
- 休憩施設：駅及び周辺の暑さや雨風をしのげる十分な待合室等がない。



■周辺バス停の案内



- 案内チラシが分かりにくい
- 案内が統一されていない

2. 整備方針（案）

2-2. てだこ浦西駅に求められる機能（第1回検討会資料より）

7

- ▶ 関連計画・現状分析・ヒアリング・アンケート調査等の結果を整理し、「てだこ浦西駅に求められる機能」を検討した。

現状分析、ヒアリング・アンケート結果

てだこ浦西駅に求められる機能

●各種二次交通の接続について

- ✓ 駅利用者数は順調に増加、高速バスとの接続、周辺施設へのアクセス等、広域、地域の拠点として十分なポテンシャルあり
- ✓ バス路線は多方面に運行するが、乗入路線は限定的、案内や待合環境も不十分
 - ▶ バスの遅延に対応したリアルタイム情報等のニーズ（駅利用者、来訪者）
 - ▶ 結節機能の強化の必要性は認識しつつ、現状路線の活用、利用増が優先（バス事業者）

●新たなモビリティについて

- ✓ シェアサイクルなどは、今後区画整理により居住者数、駅周辺施設利用者数の増加が想定
 - ▶ カーシェアや電動キックボード等のニーズ（駅利用者、来訪者）

●P&R駐車場、駐輪場について

- ✓ P&R駐車場は新規定期受付を停止中で容量がひっ迫
 - ▶ P&R駐車場不足は確実、利用者からも増床ニーズが多い（駐車場指定管理者）
- ✓ 自転車、二輪車も駐輪場をはみ出して駐輪が見られるなど、安全面においても課題

●賑わいの創出について

- ✓ てだこ浦西駅周辺の開発で、住宅施設や複合施設、教育施設等の整備が予定
- ✓ 駅周辺では、高架下やモノレールと駐車場の間のスペースなど、活用可能な空間が残存
 - ▶ カフェや飲食施設、休憩スペース、人が集まる空間、子供が遊べる空間などの多様なニーズ（駅利用者、来街者）

●観光面、防災面について

- ✓ てだこ浦西駅周辺を経由して本島中北部の観光地への移動が見られるが、観光地案内は不足
- ✓ 駅における防災機能等の充実は見られない
 - ▶ 観光情報の提供充実、お土産品の充実等のニーズ（来訪者）

交通（乗換）機能の充実

広域拠点、地域拠点を目指し、バス等の二次交通の機能拡大や集約、案内の強化、待合環境充実が必要

周辺施設へのアクセス利便性向上のため、多様なモビリティの充実が必要

各駐車場の効率的な運用及び容量確保が必要

拠点形成機能の充実

利用者、市民、関係者から賑わい施設の充実が求められているため、高架下や歩行空間を活用した施設、イベント等の実施が必要

ランドマーク機能の充実

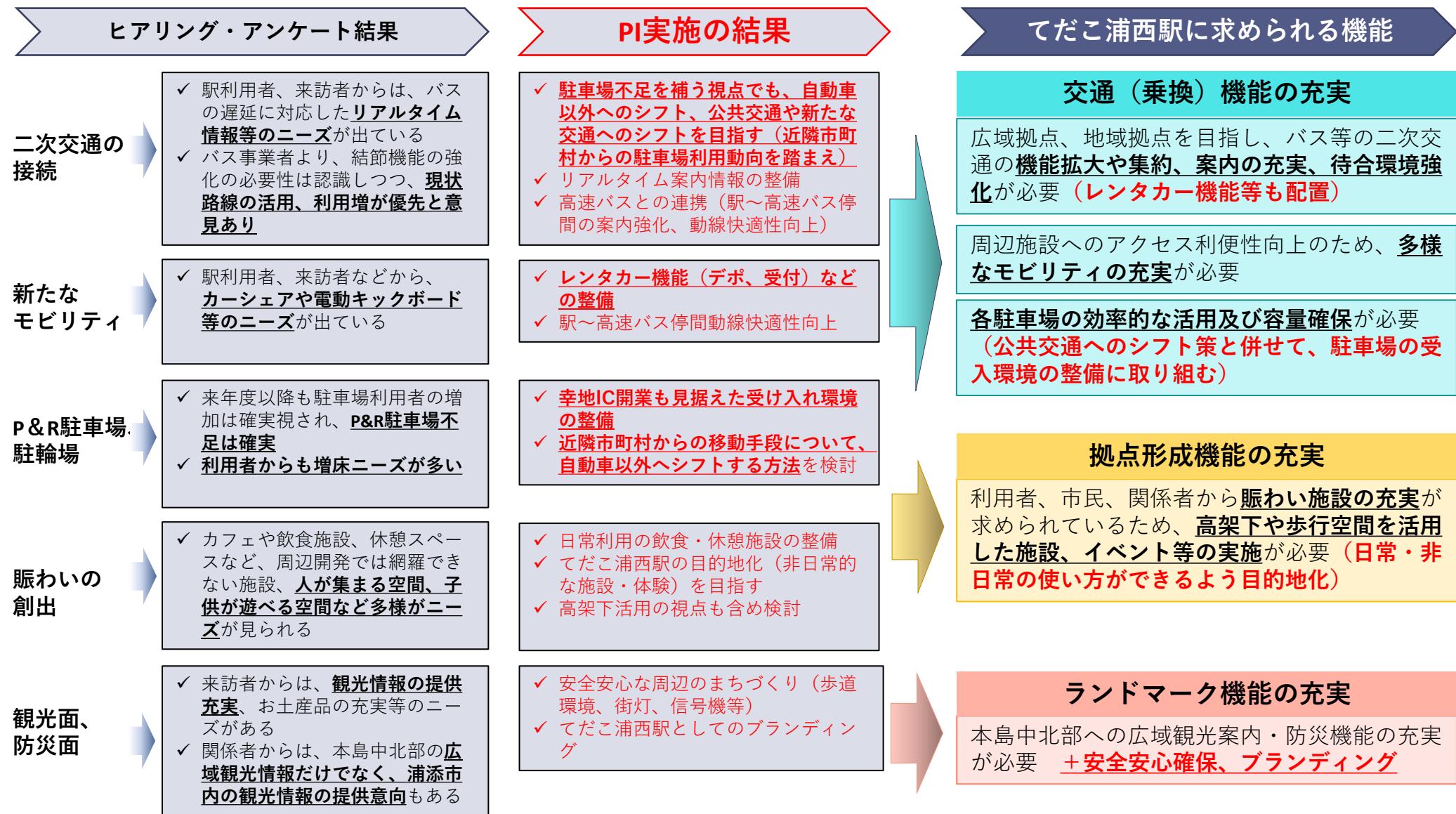
本島中北部への広域観光の経由地として機能するための観光案内、その他防災機能の充実が必要

2. 整備方針（案）

2-2. てだこ浦西駅に求められる機能（第1回検討会およびPI結果等を踏まえ更新）

8

▶ 前頁について、PIや検討会の意見を踏まえ「てだこ浦西駅に求められる機能」を再整理した。（赤字部分が追記した内容）



2-3. てだこ浦西駅に求められる姿

(赤字部分が追記した内容)

➤ 多様な意見を踏まえ、3つの機能をベースに機能の充実を図る。

交通（乗換）機能

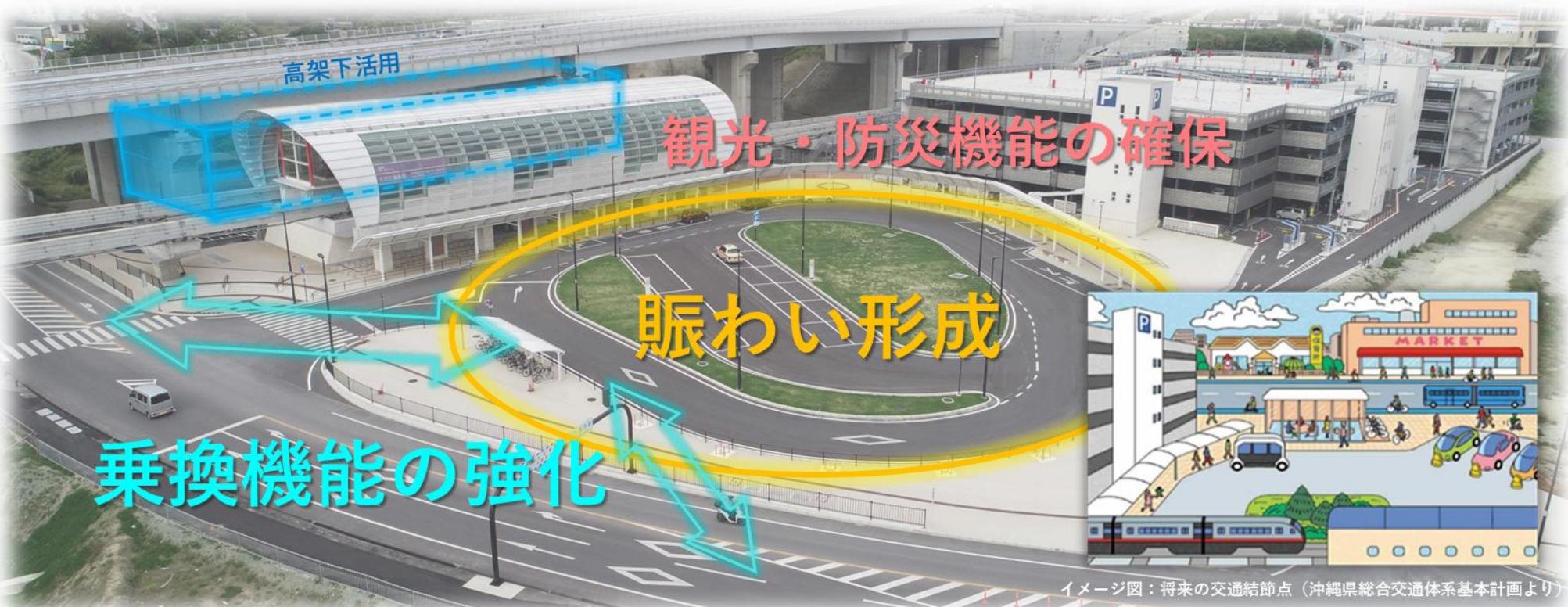
- バス（路線・高速・地域巡回）の結節強化
- 待合環境の整備、乗換案内の強化
- モビリティハブの整備
- レンタカー機能（デポ・受渡）の配置
- P&R駐車場、駐輪場等の受入環境整備

拠点形成機能

- 高架下や交通広場を活用した、賑わい・滞留空間の創出（施設、広場）
- 目的毎に利用できる施設・体験等の提供
- まちづくりと連携し、若者や子育て世代も利用しやすい場の提供

ランドマーク機能

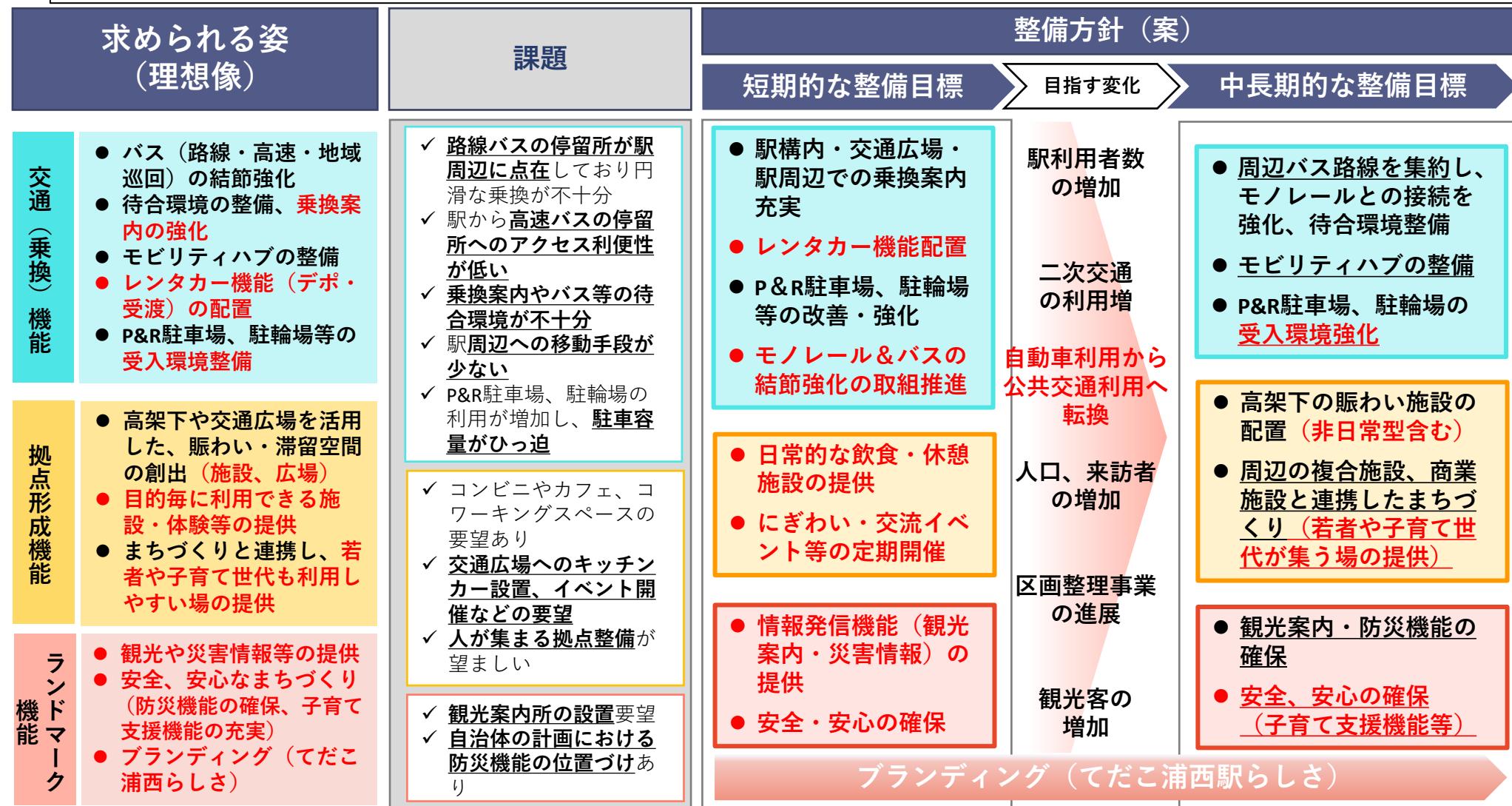
- 観光や災害情報等の提供
- 安全、安心なまちづくり（防災機能の確保、子育て支援の機能充実）
- ブランディング（てだこ浦西らしさ）



2-4. 整備方針（案）

(赤字部分が追記した内容)

- 求められる姿（理想像）から課題を抽出。
- 求められる姿（理想像）の実現に向け、課題解決には、てだこ浦西駅を取り巻く環境の変化も踏まえ、段階的な整備を行う必要がある。



3. 整備イメージ（具体的な機能）

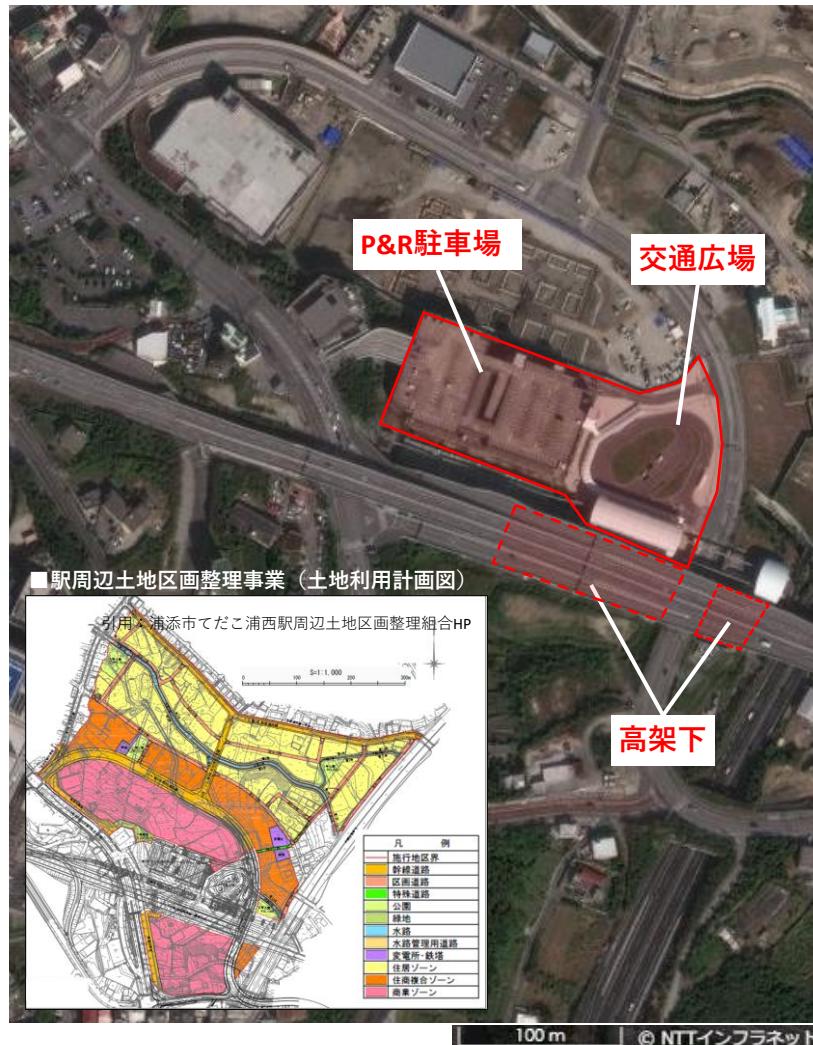
3. 整備イメージ（具体的な機能）

3-1. 整備対象範囲

12

- てだこ浦西駅交通結節機能強化における具体的な検討の範囲は、てだこ浦西駅・駅前交通広場・浦添西原線高架下などの空間。
- 駅周辺では区画整理事業が進展中。（てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業）

■てだこ浦西駅交通結節機能強化検討範囲

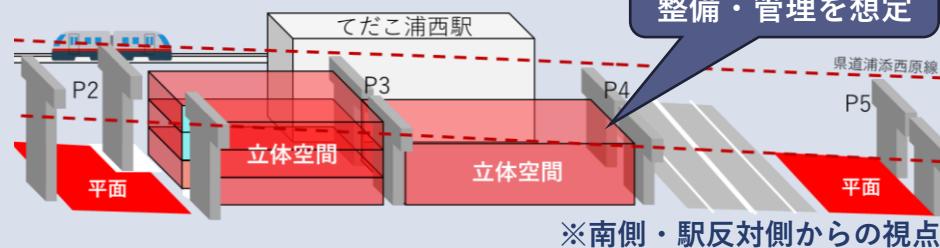


■駅横の高架下空間（県道浦添西原線）

- 駅周辺に必要な機能を確保するため、空間の有効活用を図る。
- 高架下においては、立体的な配置が可能であるため、交通機能・にぎわい機能・情報機能等を階層的に配置。



官民連携による
整備・管理を想定



3. 整備イメージ（具体的な機能）

3-2. 短期的な整備内容

13

交通（乗換）機能

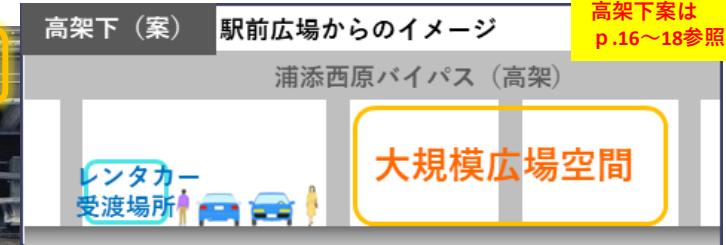
- 駅構内・交通広場・駅周辺での乗換案内充実
- レンタカー機能配置
- P&R駐車場、駐輪場等の改善・強化
- モノレール＆バスの結節強化の取組推進

拠点形成機能

- 日常的な飲食・休憩施設の提供
- にぎわい・交流イベント等の定期開催

ランドマーク機能

- 情報発信機能（観光案内・災害情報）の提供
- 安全・安心の確保



3. 整備イメージ（具体的な機能）

3-3. 中長期的な整備内容

交通（乗換）機能

14

- 周辺バス路線を集約し、モノレールとの接続を強化、待合環境整備
- モビリティハブの整備
- P&R駐車場、駐輪場の受入環境強化



中長期的には周辺バス路線の駅前広場乗入れを行い、モノレール、多様なバス路線、モビリティ間の乗り換え利用者増に繋げる

バス乗り場（バス停集約）



周辺の高速、路線バス等の駅前広場乗り入れ

既存バス乗り場

①乗り場 ②乗り場

系統	路線名	事業者
233	西原てだこ線	那覇バス
256	浦添てだこ線	琉球バス
294	てだこ琉大快速線	那覇バス
297	沖国琉大快速線	那覇バス
47	那覇てだこ線	那覇バス

既存4系統に加え
計15系統乗入れへ

新設バス乗り場（周辺バス乗り入れ）

③乗り場 ④乗り場 ⑤乗り場

系統	路線名	事業者
111	高速バス	琉球バス、那覇バス
113	具志川空港線	琉球バス
117	高速バス	琉球バス、那覇バス
123	石川空港線	琉球バス
127	屋慶名・高速線	沖縄バス
152	付ソモール沖縄ライカム（高速線）	琉球バス
25	那覇普天間線	那覇バス
56	浦添線	琉球バス
97	琉大線	那覇バス
125	普天間空港線	那覇バス
333	那覇西原線（末吉経由）	那覇バス

3. 整備イメージ（具体的な機能）

3-3. 中長期的な整備内容

拠点形成機能

ランドマーク機能

15

拠点形成機能

- 高架下の賑わい施設の配置（非日常型含む）
- 周辺の複合施設、商業施設と連携したまちづくり（若者や子育て世代が集う場の提供）

ランドマーク機能

- 観光案内・防災機能の確保
- 安全、安心の確保（子育て支援機能等）

若者が集う場（飲み屋街）



事例：柏の葉キャンパス駅／千葉県柏市

若者が集う場



事例：2K540 AKI-OKA ARTISM／東京都千代田区

高架下の飲食施設

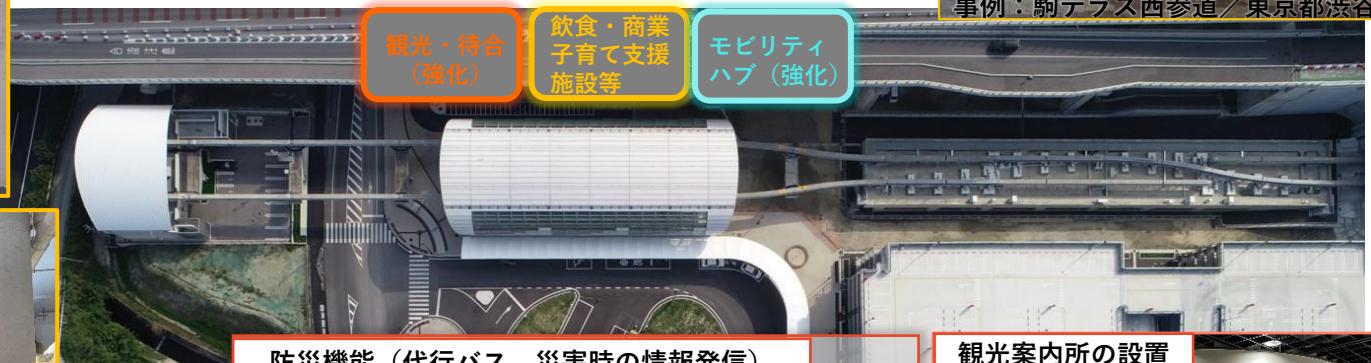


事例：駒テラス西参道／東京都渋谷区

観光・待合
(強化)

飲食・商業
子育て支援
施設等

モビリティ
ハブ（強化）



防災機能（代行バス、災害時の情報発信）



代行バス（くま川鉄道 肥後西村駅） 情報提供（資源エネルギー庁HP）



観光案内所の設置



事例：東京シティアイ 観光情報センター
／東京都千代田区

事例：送迎保育ステーション（千葉県流山市）



流山おおたかの森駅、南流山駅と駅から500メートル以上の市内認可保育園等を結ぶ安心・安全のバスを運行。出勤時にお子さまを預け、帰宅時にお迎できるサービスです。

出典：流山市HP

子供の遊び場（体験）



事例：駒テラス西参道／東京都渋谷区

3. 整備イメージ（具体的な機能）

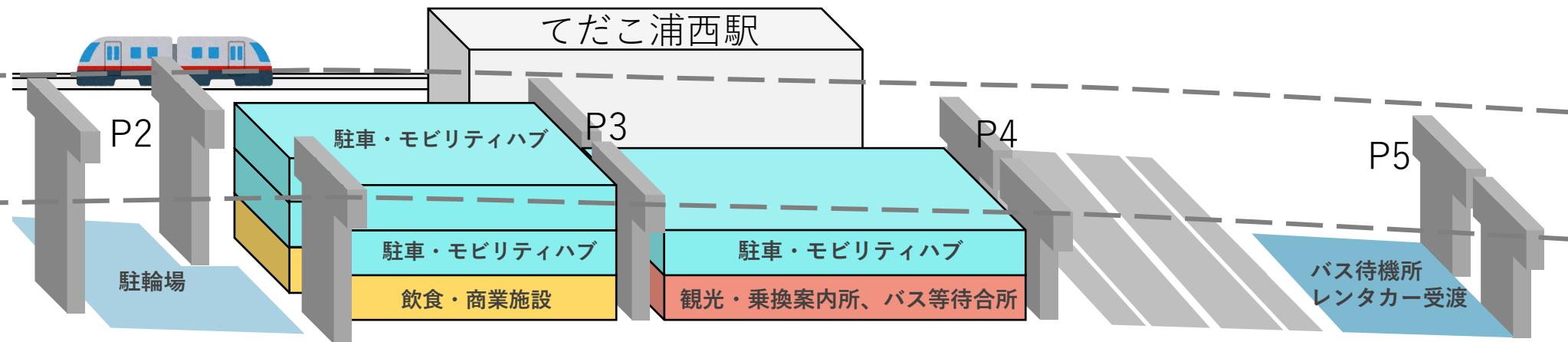
3-4. 高架下の活用ケース

16

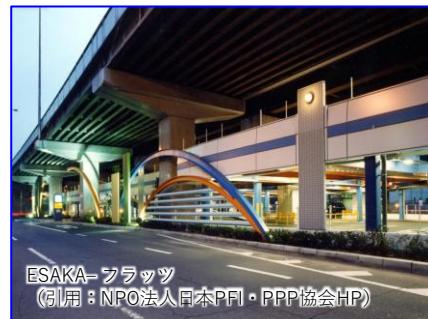
case 1（3機能をバランスよく配置）

高架下を活用し、交通機能としてモビリティハブの整備、拠点形成として商業施設等の整備、ランドマーク機能として観光案内を均等に配置するケース。（交通機能、拠点形成機能、ランドマーク機能をバランスよく配置）

高架下の空間活用イメージ（※南側・駅反対側からの視点）



配置する機能イメージ



駐車場・モビリティハブ



飲食・商業施設



バス待合・休憩



各種案内（観光・災害情報等）

3. 整備イメージ（具体的な機能）

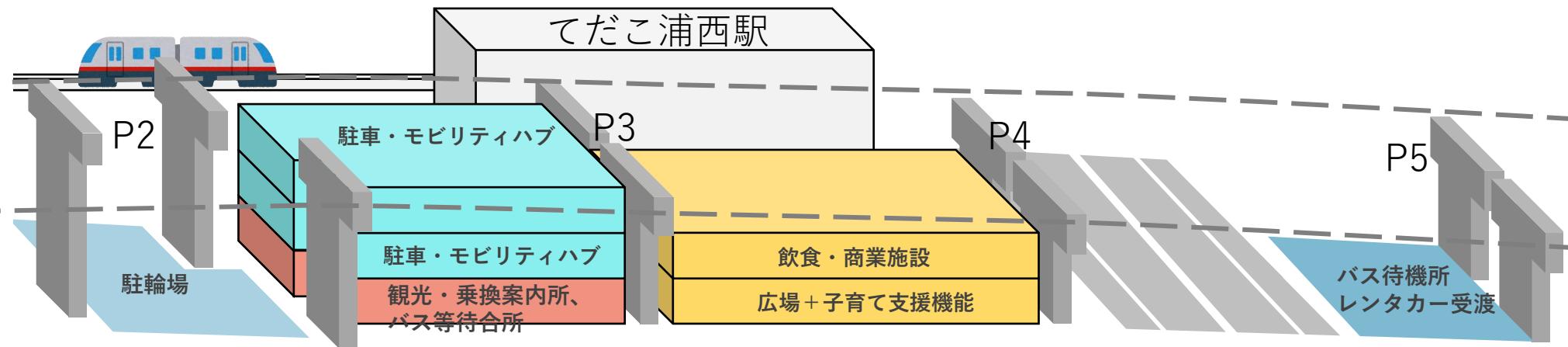
3-4. 高架下の活用ケース

17

case 2（交流・滞留機能を重視）

拠点形成機能強化として、広場、子育て支援機能、飲食・商業施設など、日常的に人が集う滞留空間を重視するケース。

高架下の空間活用イメージ（※南側・駅反対側からの視点）



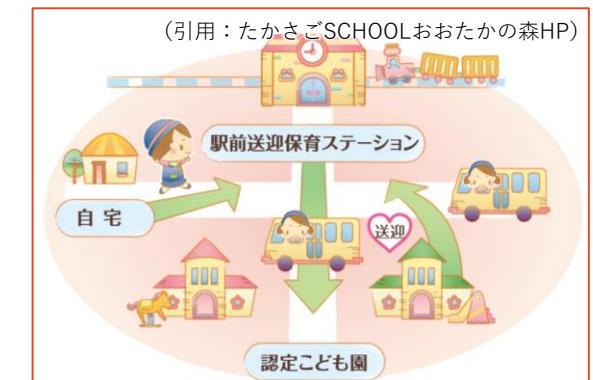
配置する機能イメージ　※交流・滞留機能



飲食・商業施設



交流・体験・憩いの施設



子育て支援機能

3. 整備イメージ（具体的な機能）

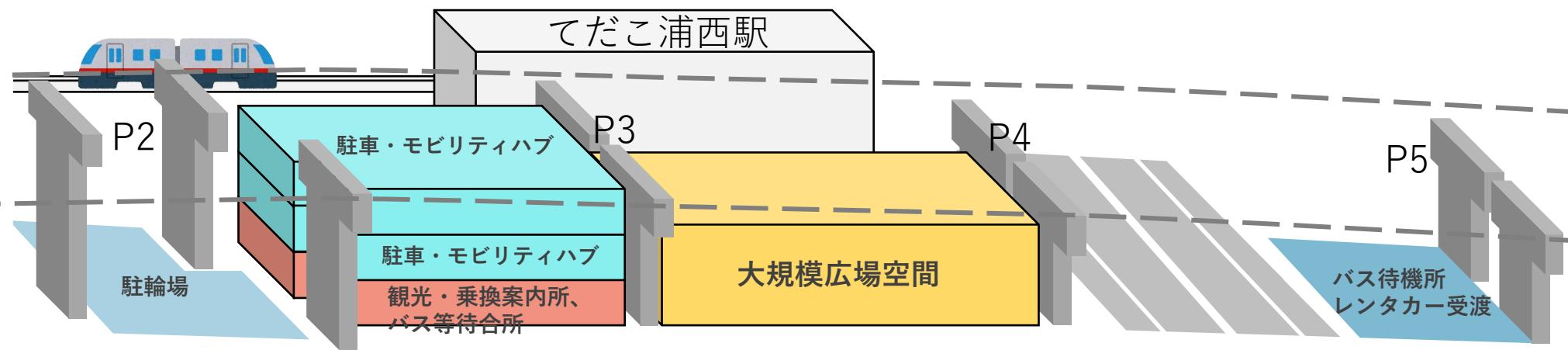
3-4. 高架下の活用ケース

18

case 3（大規模空間活用し地域内外から人が集う場所）

拠点形成機能の強化として、大規模広場空間（全天候型）で地域内外から人が集まる・活動できる空間を整備するケース。

高架下の空間活用イメージ（※南側・駅反対側からの視点）



配置する機能イメージ ※大規模空間活用



公園などの大空間施設



すみだスケートボードパーク



DUMBO (ニューヨークマンハッタン高架下)
(引用:沖縄総合事務局令和5年度沖縄本島における陸上交通体系の在り方検討調査報告書より)

交流・体験・憩いの提供

4-1. 今後引き続きの検討項目

- 今までで、整備イメージ及び具体機能（施設）のイメージを整理したが、整備計画作成にあたり引き続き以下項目を検討し、次回開催の検討会において説明予定。

① 官民の事業区分・役割分担

整備イメージの具体機能については、多様な主体が関係しており、同時に複数の事業を進めることも想定されるため、各機能（施設）について、事業区分や事業手法を具体的に検討し、役割分担を明確にする必要がある。

② 管理運営の考え方

官民の事業区分・役割分担も踏まえ、各施設の供用後の管理運営の考え方を具体化する。公共施設の管理者だけでなく、官民連携で行うことを検討し、そのための役割分担や運営方法を整理する。

③ 今後の進め方・スケジュール

整備する機能（施設）の内容や規模、関連する周辺計画等を含む全体的なスケジュールを整理する。

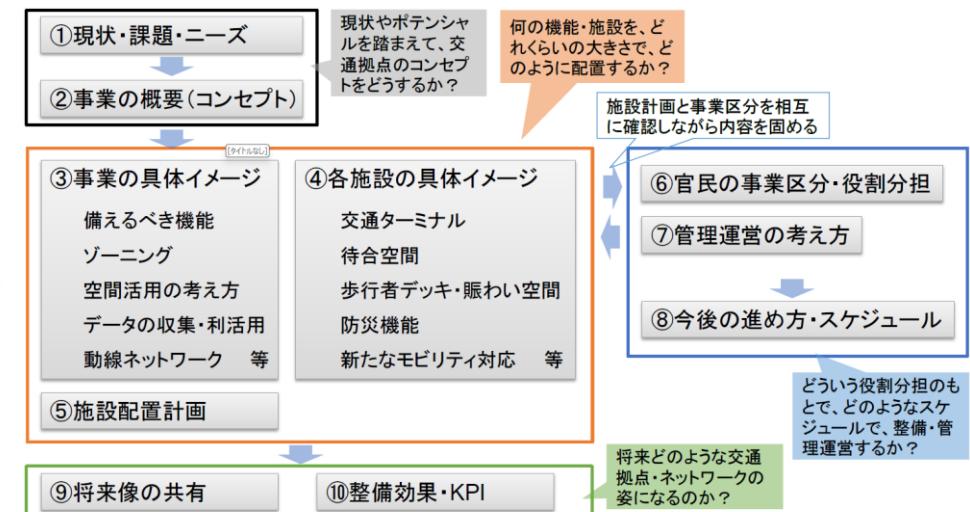


図 4-2 計画段階での検討項目と流れ

引用：交通拠点の機能強化に関する計画ガイドライン（R3年4月）